

授業科目	特別支援教育論(障がい児保育含む) (AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21411J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	松本 真理子							
授業概要	障がいのある子どもの発達上の課題や障がい特性を理解し、適切な援助方法を見出せるよう、実践事例を用いながら授業を展開する。家庭や地域での療育・相談機関との連携も含めた保育者としての対応が検討できるよう教授する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 障がいの定義と障がい児保育及び特別支援教育の理念が説明できる。 様々な障がい特性について説明できる。 障がい特性に合わせた保育上の留意点をあげることができる。 障がい児保育場面における具体的な支援方法をあげることができる。 障がい児保育及び特別支援教育に関連した療育・相談機関の種類と内容を説明することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	50	0	0	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		40			20		60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		10			30		40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 障がい児保育及び特別支援教育の理念を理解し説明できる。 それぞれの障がいに対してその特性を説明することができる。 障がい児保育場面における具体的な支援方法を説明し、実践の可能性について考えることができる。 自分の居住地における障がい児保育に関連した療育・相談機関について説明することができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 障がいの定義を理解し説明することができる。 様々な障がいがあることについて理解し説明できる。 保育場面における障がい特性に合わせた具体的な支援方法をあげることができる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション;授業の進め方や成績評価等について説明する。 障がいの定義と障がい児保育の理念について;障がいの定義や障がい児保育の理念について解説する。	講義	講義の内容を教科書で復習する	20
2	障がい児教育の歴史と共生社会;障がい児を取り巻く社会の変遷と障がい児を取り巻く教育の発展について解説する。共生社会の実現をふまえたインクルーシブな教育・保育のあり方について考察する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
3	発達過程と障がい;障がいを理解するうえで基本となる発達過程について振り返る。脳の発達と構造について解説する。感覚統合を始めとする「療育」について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
4	対象別に見た障がいの理解①視覚障がい・聴覚障がい・ 視覚障がいについて解説し、特徴や保育場面における課題について考察する。	講義 ワーク	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
5	対象別に見た障がいの理解②肢体不自由・脳性まひ 肢体不自由、脳性まひについて解説し、保育場面における援助方法について考察する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
6	対象別にみた障がいの理解③知的障がい 知的障がいについて解説し・特徴や保育場面における課題について考察する。	講義 グループディスカッション	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
7	対象別にみた障がいの理解④発達障がい児の理解と援助 自閉スペクトラム症、ADHD、学習障害について解説し、保育場面における援助方法について考察する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
8	対象別にみた障がいの理解⑤重症心身障がい児・ 医療的ケアを必要とする子どもの理解と援助 医療的ケアを必要とする子ども、未熟児、病弱児について特性と支援について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
9	対象別にみた障がいの理解⑥言語障害、情緒障害 場面緘黙を始めとする情緒障害および言語障害の各特性と援助方法について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
10	障がい児及び特別な配慮を要する子どもの保育の実際;配慮を要する子どもの保育を行う際の指導計画、支援計画立案について解説する。発達を促す生活や遊びの環境や保育形態のあり方について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
11	障がいのある子ども及び特別な教育ニーズのある保護者への支援 障がいのある子どもの具体的な支援の考え方や保護者支援について学ぶ。	講義 グループワーク	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
12	障がいのある子ども及び特別な教育ニーズのある子どもへのチーム支援 ~園内の連携や専門機関との連携~ 保育所内の連携体制や専門機関について解説し、チーム支援の在り方について学ぶ。	講義 グループワーク	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
13	特別支援教育の制度と教育形態;特別支援教育の仕組みならびに特別な教育ニーズのある子どもの教育形態、就学相談について解説する。特別支援学校における教育課程、個別の支援計画、特別支援教育コ	講義	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20

	一ディネーター、合理的配慮、インクルーシブ保育について理解を深める。			
14	講義のまとめ;障がいのある子どもの保育方法、特別な教育ニーズのある子どもの事例を取り上げ、保育方法について協議する。そして、講義のまとめを行う。	講義 グループワーク	講義の内容を振り返る。	20
15				20
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「保育の心理学 1」で乳幼児の心身発達についての知識を身につけておくことが望ましい			
テキスト	別途指示			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	小橋明子ほか 2019 障がい児保育 中山書店 大塚玲 2019 特別支援教育入門 萌文書林 浜谷直人ほか 2018 多様性がいきるインクルーシブ保育 前田泰弘 2016 実践に生かす障害児保育 萌文書林 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017 平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本 チャイルド社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	パラリンピックのニュースや NHK E テレ「バリバラ」「ハートネット」「ろうを生きる」といった情報番組に触れ、障がいのある人たちの生活についてのイメージをもって授業に臨むと理解が深まります。 教科書などの書籍から正確な情報を収集し、保育者として正しい知識を身につけることを意識してください。			

達成度評価に関するコメント	<p>保育者として障がいについての正しい知識を身につけることが評価の対象になります。小テストをほぼ毎回行い、前回の講義内容の理解を確認します。小テストを全体の評価の半分とします。</p> <p>体験を通して理解できるよう、ワークを行ったりグループディスカッションを行います。ワークやディスカッションに主体的・積極的に参加することが望まれます。毎回の授業の終わりにリフレクションシートを書いていただき、理解したこと、考えたことを振り返っていただきます。毎回のリフレクションシートでの振り返りを評価の半分とします。</p>
---------------	---